

# テーマは『防災』

防災や減災の取り組みは、地域におけるまちづくりの大きな課題。特に大規模災害発生直後は、住民同士の助け合いが重要となります。

そこで「まち協」では、まずは災害発生への備えとしての防災・減災について、さまざまな角度から意見交換を行っていくことにしました。

## 実施状況

平成23年度の「まち協」では、災害発生時の情報収集・共有について、ワークショップや有識者を招いた講演会などを実施しました。

続く平成24年度には、避難時の地域の役割・行動について理解を深めるため、宮城県南三陸町から東日本大震災の被災者の方4人を迎え、災害の恐ろしさ、被害状況、復興に向けての取り組みなどについて話を伺いました。災害発生時の混乱や、避難生活の現状など、被災者の方から語られる内容に、メンバー一同、真剣に耳を傾け、活発な意見交換が行われました。

〈被災した体験を聞く参加者たち〉



## まちづくりへ反映

「まち協」で行われた意見交換の中で出された提案などは、すでにさまざまな地域の取り組みに生かされています。その一部を紹介します。

### 【防災無線の使用体験】

各小学校では先生と町内会が一緒になって、避難場所としての学校施設の確認や、防災無線の使用体験を実施しています。

これは、災害発生時に備えて、避難場所の運営や防災無線の使い方などを、地域住民も知っておく必要があるのではないかという「まち協」からの意見を受け、参加団体である札幌市小学校長会北支部が、区内の小学校に提案をして実現しました。

### 【避難所宿泊訓練】

昨年の8月31日から9月1日にかけて実施された、鉄西・幌北の両連合町内会合同による「北区防災訓練」では、幌北小学校体育館に実際に避難所を設置。非常食やトイレの問題など、被災者の方から聞いた課題を意識しながら訓練に臨み、避難所で一夜を過ごしました。

## 【区役所との連携】

「まち協」での議論は、区役所が行う事業にも生かされています。

自主防災組織を結成し、防災マップを作成している地区を対象に、防災マップを更新する際の経費を助成する制度や、避難所での地域リーダーの役割や避難所運営の手法と課題を学ぶ研修会の実施もその一つです。

「まち協」から生まれた意見やアイデアは、着実に地域と行政が一体となったまちづくりに効果を与えています。

平成25年度も、引き続き避難時の地域の役割・行動について意見交換を進め、安全・安心なまちづくりのために活動していきます。



避難所設置訓練の様子



積極的に訓練に参加する地域住民

【お問い合わせ先】  
 北区地域振興課  
 まちづくり推進係  
 ☎ 757-2407